

その人らしい生き方を支えるために
～人生会議（アドバンス・ケア・プランニング）～

あなたは終活してますか？
あなたの大切な人はどうですか？

生まれたことにより、死は避けられないことです。
いつかは誰にでも死が訪れます。
死が訪れるまでの間を、悔いのない自分らしい生活を送り人生を
全うすること。そして死に対して、真正面から積極的に向き合う
ことは、大切だと思いませんか？

人生の最後の時間を自分らしく過ごすために、生前から用意して
おくことが、自分にとっても家族にとっても大切なことです。
しかし、最後の時間と言っても人により終末の時期や時間に違いが
あります。できるうちに考えておくことにより、やらなくてはなら
ない作業を整理することもできます。

だからこそ、今、考えてみませんか？
それが、人生会議（アドバンス・ケア・プランニング）の
考え方なのです。

当院の緩和ケアチームは、最期のその時まで、その人らし
く生活していけるようアドバイスさせていただきます。

これからの治療やケアについてどうしていきたいかなど、
患者さんやご家族との話し合いのお手伝いができるように、
『意思確認書』を準備しております。

ぜひお声がけください。



『意思確認書』



ステップ1：大切にしていることは何かを考えてみましょう。

1. もし生きることができる時間が限られているとしたら、あなたにとって大切なことはどんなことですか？ 以下の中から選んでみてください。（複数回答可）

- 家族や友人
- 仕事や社会的な役割
- 身のまわりのことが自分でできる
- できる限りの治療が受けられる
- 家族の負担にならない
- 趣味
- ひとりの時間が保てる
- 経済的なこと
- その他（具体的に書いてください）

（ ）

2. ご自身、ご家族や友人のご経験、またはテレビや映画の場面を通して感じたことをお伺いします。

1) 「こんな最後だったらいいな、こんな治療やケアを受けたいな。」と感じたことはどんなことですか？

2) 「こんな最後は嫌だな、こんな治療やケアを受けたくないな。」と感じたことはどんなことですか？

3) 今後もし同じような状況になったら、どのような治療やケアを受けたいと思いますか？

4. その他に気になることはありますか？

「だったら生き続けるのは大変かもしれない」と感じるのは、どのような状況にときでしょうか？

- げると、「昏睡になって目が覚めず、まわりに自分の意志を伝えられない」
- 「身のまわりのことが自分でできない」
- 「食べたり、飲んだりできない」
- 「機械の助けがないと生きられない」（例：（人工呼吸器）
- 「治すことができないつらい痛みや苦痛が続く」

あなたが、「生き続けることは大変かもしれない」と感じる状態になったとしたら、

えられなくなった場合、どのような治療を望みまは受けたくない。

2) してほしくない治療やケア

1. 病状の悪化などのより自分の考えを伝えられなくなった場合、どこで治療やケアを受けたいですか？

- 病院
- 自宅
- それ以外（具体的な場所）

そのように考える理由を教えてください。

ステップ5：伝えましょう

病状の悪化などのより自分の考えを伝えられなくなった時に、あなたの考えとあなたの代理人（ステップ2で答えた方）の考えが違う場合どうしてほしいですか？

- 私の望むとおりにしてほしい
- 私の希望を基本として、医師と相談して決めてほしい
- 私の希望と違って、医師と相談して決めてほしい
- どちらとも言えない

*他に何かあれば、ご自由にお書きください。

「意思確認書」は**ステップ1**から**ステップ5**まであります。質問に答えながら、自分の考えを整理していくことができます。

ご興味のある方は
緩和ケア認定看護師
新宮久子まで
ご連絡ください

